

平成22年度 決算認定

一般会計 347億371万円

(対前年度比+3.0%)

将来に備え 20億円超を基金へ積み立て

9月定例議会は、8月30日開会、9月21日閉会の23日間で開催され、26件の議案が提案されました。

議案は平成22年度一般会計決算では、当初予算316億6000万円に基づき、各事業を推進した結果347億371万円で、前年度比3.0%の増加となりました。

議案は各常任委員会で審議され、全議案とも可決されました。

補助金の適切な活用を

問 補助金は足りない部分を補うという観点からすると、これほど繰越額が出るのでは市のチェックが甘いのではないかと。

答 各施策へ配分された枠予算の中で、前年度の執行額を確認し、事業間の予算の過不足を調整することとしています。

今後予定されている平成24年度の当初予算編成において、この繰越額については精査し、今後の補助金のあり方を再度検討したいと考えます。

吹上荒川総合運動公園整備について

問 パークゴルフ場の増設をする設計委託料とのことだが、今後の展開

についてはどのように考えているのか。
答 現在は18ホールで運営されていますが、利用者の要望により本年度以降、さらに18ホールの増設を行い、36ホールにする予定です。



36ホールにする予定のパークゴルフ場

子ども手当支給事業

(18億3794万円)

平成22年度から始まった子ども手当は、0歳から15歳までの子どもを対象として1人月額1万3000円が支給されました。市内では14138人が対象となりました。

吹上中学校改築事業

(3億927万円)

校舎の耐震性不足による吹上中学校特別・普通教室棟の改築工事が平成22年6月から行われました。

鉄筋コンクリート造3階建て、2階・3階には広いコモンスペース多機能ホールがあり、エレベーター、身障者用トイレなどユニバーサルデザインの斬新な校舎となっています。(引き渡しは平成23年8月。総工費は約9億1000万円)

小中学校耐震化推進事業

(5億705万円)

小中学校の耐震化を進め、22年度までの工事で、市内小学校19校中学校8校の耐震化率は79.8%となりました。今後は平成25年度の完了を目標に耐震化を図っていきます。

民生費・土木費を手厚くした

平成23年度 第3回 補正予算

一般会計 8億2990万円

平成23年度第3回補正予算では市債の繰上げ償還、道路改修事業、小学校給食室整備事業、学童保育室熱中症対策等で、15億1664万円の補正予算案が提出・審議され、原案可決となりました。

市債の繰り上げ償還進む

問 公債費で、利率の高い市債は、繰上償還すべきだが。

答 今後の市債の償還状況を考慮し、平成19年度から21年度まで利率の高い市債について実施しており、平成23年度は4億1379万円を繰上げ償還する予定です。

今後も健全な財政運営を行っていきます。

今後、災害派遣された経験はどう生かすか

問 福島県鏡石町に、派遣された職員の実験を今後の行政運営にどのように生かしていくのか。

答 災害に対する行政が行うべき業務等、こちらで考えていたものと実際に現地で見えたものとは大きく異なっており、非常に参考になったと思っています。

派遣された若い職員からも「非常に良い勉強になった」「今後もこういった活動をしていきたい」「復興後の形を見たい」との話もあります。

渋井橋通りの道路拡幅

川里地域の住民より拡幅要望の多かった渋井橋の周辺道路が、12m幅に拡幅されることになり、平成27年度までに整備完了予定です。



利便性が高まる渋井橋通り

小学校給食室整備事業

(382万円)

屈巢・共和・広田の三小学校が平成25年度から自校方式の給食調理になることに伴う測量委託料と松原小学校給食室をドライシステムへの改修及び炊飯器を導入するための工事費(不足分)を計上しました。

学童保育室熱中症対策

(516万円)

熱中症対策として全学童保育室20箇所(エアコン・扇風機等)を導入します。

県の補助金を利用する事業のため、各学童保育室に要望を聞き、県との協議で内容を決定します。馬室学童保育室の例では、老朽化し修理不能な冷蔵庫を省電力型に入れ替えるとともに、エアコンの温度を保つために新たに扇風機の購入を要望しています。平成24年の夏からの使用となります。

